

平成26年度 三条市道徳部 活動報告

部長 二宮 和美

1 研究主題

道徳的実践力を育てる道徳授業の工夫

2 研究の概要

- (1) 教材研究・情報交換会（6月20日）
 - 「私たちの道徳」の実践報告と情報交換
 - 場所：三条市立一ノ木戸小学校
- (2) 授業研究（9月25日） 授業者：二宮和美
 - 三条市立長沢小学校4年生 道徳公開授業・協議会
 - ～モラルスキルトレーニングを取り入れた指導～
 - 主題名「誰に対しても心をこめて謝ろう」2ー（1）



3 研究の実際

- (1) 教材研究・情報交換会

「私たちの道徳」が配付されたが、指導資料がまだ届いていないことで不安をもっている教員が多いことが分かった。そこで、各部員がそれまでに実践した授業を持ち寄り、その資料の使い方や指導の工夫について情報交換を行った。

実際に指導してよかった点は、そのまま他校の指導にも生かすことができた。また、資料の使い方や授業内容で改善が必要なものは、よりよい授業にするためにその場で意見を出し合うことができた。

- (2) 授業研究

道徳的実践力を育てる指導として、モラルスキルトレーニング（M o s t）を取り入れた授業を公開した。モラルスキルトレーニングプログラムについての書籍が出版されているが、実際の授業を参観したことがない部員が多かった。そこで、実際に授業を参観して、そのよさや改善点を協議した。

4年生の公開授業では、「心をこめて謝るスキル」を取り上げた。資料は、短時間に理解できるように紙芝居形式で提示し、その後、ウォーミングアップとしてペアインタビューを行った。これは、登場人物になりきって質問に答え、人物の気持ちを考える活動である。

中心の活動は、スキルを取り出す場面である。できるだけ多くの子どもたちに体験させるために、まず、一斉にロールプレイングを行った。その後、代表の子どもが発表し、そのロールプレイングのよいところを見つけ出す活動を行った。よいところがそのままスキルの取り出しにつながるように工夫した。

子どもたちはある程度ロールプレイングになれているため、多くの子どもたちがロールプレイングを発表することができ、スキルを取り出すことができた。

4 成果と課題

「私たちの道徳」の使い方に悩みながらも各学校における道徳のリーダーとして、積極的に活用していたが、実際に意見交換をして、よりよい指導方法が分かり、大変有意義な時間となった。教師のアイデア次第で多様な使い方ができることも分かった。今後は、学校内で情報交換をしたり、資料の蓄積をしたりする必要がある。

授業研究では、道徳の授業を参観する機会が少ないので、実際に授業を行い、協議することができて、大変よかった。また、モラルスキルトレーニングについて知ってもらう良い機会になった。今後もできるだけ授業研究を進め、よりよい道徳授業を工夫していくことが大切である。